

新居浜を明るくする運動 優秀作品集



優秀標語

「めとみみと ころろできくよ きみのはなし」

泉川小学校 1年 高津 大雅

「したらダメだよ 自分がされて いやなこと」

宮西小学校 2年 伊藤 来未

「ゲームより 目を見て話そ きみとボク」

泉川小学校 3年 小野 汰雅

「ありがとう」心をつなぐ 愛言葉」

大生院小学校 4年 芝 杏優里

「かげ口は とどかなくても きずつける」

金子小学校 5年 木坂 心春

「言葉の矢 抜いても一生 傷になる」

宮西小学校 6年 溝淵 春日

「大丈夫？」その一言に ありがとう」

南中学校 1年 山中 愛海

「誰かやる そう考えずに 自分から」

角野中学校 2年 高橋 壱歌

「ごめん無理 断ることの 大切さ」

北中学校 3年 高畑 佑成

「見逃すな 地域にかくれた SOS」

新居浜商業高等学校 1年 富高 朱飛

講評 新居浜を明るくする運動推進会議

標語については、市内 24 校から 114 点応募いただきました。その中から、各学年ごとに選ばれた、優秀標語を掲載しました。今の時代を象徴する、児童生徒の皆さんの心のこもった標語をありがとうございました。

たくさんのご応募
ありがとうございました



優秀作文

小学校 : 4 年生・5 年生の部

「犯罪や非行のない新居浜市に」

浮島小学校 5年 佐々木 弥生

犯罪や非行は、世の中にたくさんあります。ニュースでも毎日見ます。「私は絶対にしない。」と思っているけれど、中には、遊んでいるように、楽しい気持ちでやっている人もいます。でも、つい、してしまう人もいるかもしれません。「もしかしたら、つらい気持ちでしてしまう人もいるのかな。」と考えました。

私の祖父は、保護司をしていたそうです。保護司とは、犯罪や非行をした人が二度と同じことをくり返さないように、相談にのったり、いっしょに考えたりして、サポートをする仕事です。祖父がサポートをしていた人は、「保護司の方と話をすることで、自分のしたことを反省することができた。」と言っていたそうです。

祖父から話を聞いて、私は、犯罪や非行をなくすためには、周りの人とのかかわりがとても大切だと思いました。みんなで声をかけ合い、協力したり、助け合ったりすることで、犯罪や非行のない新居浜市になると思います。

そんな新居浜市をつくるために、わたしにできることを考えました。

例えば、あいさつをすることです。明るいあいさつをして、地いきの人と声をかけ合うことで、一人ぼっちの人が少なくなると思います。そうしたら、よくないことを思いついても、やめておこうと思うのではないかと思います。地いきの人に会ったら、いつでも、明るい笑顔と大きな声で、あいさつをしていきたいです。

また、人を差別しないことも大切だと思います。だれとでも仲良くして、一人ぼっちになる人がいないようにしたいです。一人でさみしそうな子がいたら、「いっしょに遊ぼう。」と声をかけたいです。それに、困っている人がいたら、相談にのってあげたいです。そうして、助け合ってすごしていきたいと思います。

みんなで協力して、よりよい新居浜市、よりよい世の中になると嬉しいです。



小学校: 6 年生の部

「新居浜市を明るくするために大切なこと」 金栄小学校 6年 高橋 瑞姫

わたしは、新居浜市を明るくするために、みんなが笑顔で住みやすい環境を作る大切なことを三つ考えました。

一つ目は、気持ちの良いあいさつを心掛けることです。家族・友人・先生・地域の方など勇気を持って自分からあいさつをすることで相手の方も自然とあいさつをしてくれるのではないかと思います。そうすることで、気持ちのつながりが持て、おたがい笑顔になれると思います。そうすれば、いやなことがあっても気分が晴れるのではないのでしょうか。

二つ目は、地域のイベントや交流会などへの参加を積極的にしていくことの必要性です。新居浜の大イベントの一つに、太鼓祭りがあります。毎年多くの人が参加してにぎわっています。わたしも太鼓祭りは大好きです。地域の人が集まって太鼓をかついでいるすがたを見るとすごく楽しそうでわたしも心がウキウキします。いいお祭りだなと感じます。太鼓のかき夫も見ている人も笑顔になり、団結力が素晴らしいなと思います。あかがねミュージアムのイベントなどにも参加し、子どもからお年寄りの方と交流が深められるのではないかと思います。

三つ目は、いじめ・差別をなくすことです。いじめ

は、身近でよく聞くことがあり、わたしも経験したことがあります。いじめられるといやな気持ちになるし、ひどくなると体調までくずしてしまいます。学校にも行きたくなくなり、家にも布団から出たくなくなってしまいます。こんな気持ちを誰にもさせたくありません。差別もしてはいけないと思います。大切な命をみんな授かって生まれてきています。みんな平等だと思います。学校では人権・同和教育を習っています。みんなが幸せに暮らしていくためには、そういった問題を一つ一つ理解し、差別のない地域を目指していくことが必要だと思います。

新居浜市が、笑顔のたえない街づくりを目標にしていけたらいいなと思います。わたしもできることは行動して、いろいろな人と関わりを持ってすてきな街にしていければいいと思います。そうすれば、移住してくる人も増えてくるかもしれません。たくさんの人に新居浜市の良さを知ってほしいです。新居浜市をもっともっと笑顔があふれるかがやく街にするために、身近な人にあいさつをしたり、イベント活動に参加できるように周囲の方と声を掛け合ったりするなど、私でもできることからコツコツと取り組んでいきたいです。



中学校の部

「明るい社会に向けて」

北中学校 2年 中路 理央

私の思う非行とは、自分の親や、周りの人の気持ちを考えられず、先を見据えて行動することのできない人のする犯罪行動です。その非行を防ぐためには人と人とのコミュニケーションを深めることが大切だと私は考えます。非行をする人は寂しさや苦しみを抱えています。だから、日頃から人とあいさつをし合ったり、自分の思ったことや気持ちを誰かに素直に言ったりできる環境が必要だと思いました。私だったら何か悩みがあった時、まずは家族や友達に話します。そうすると少し気持ちが軽くなり、「一人じゃない」と安心します。でも、それができなくて一人で抱え込んでしまう人はとても悲しくて辛そうだと思いました。

今、私は家族と住んでいて、祖父や祖母とは、別々に暮らしていますが、離れていても人生経験の豊富な祖母たちから学ぶことは多いです。母方の祖母は、正義の味方タイプで、登下校中、友人に意地悪をしている小学生たちに「みんなで仲良くしようね。」と声をかけたり、バス停で横入りしてくる人に「後ろ、みんな並んでますよ。」と明るく声をかけたりして、コミュニケーションをとります。でも、自分の

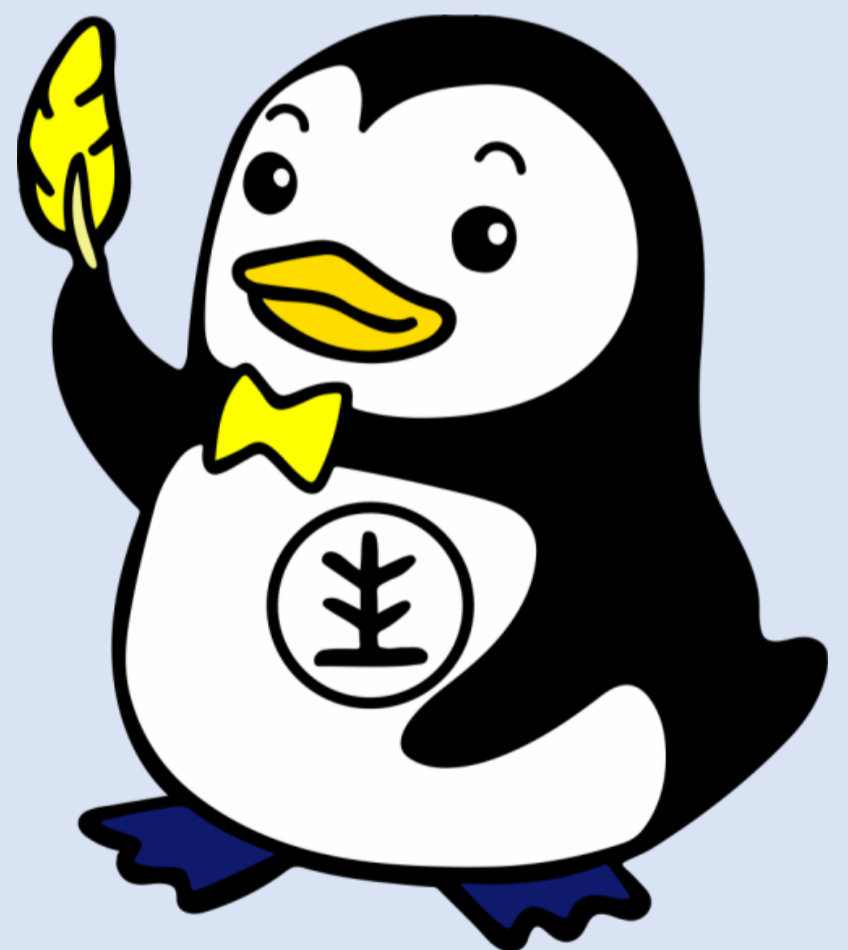
知らない人に声をかけたりして、逆ぎれされたり、憎まれないか、はらはらします。私は知らない人にそこまではっきりは言えないけれど、このような場面で、声をかけることができるのは勇気ある行動だと思います。これは非行とは違いますが、社会のルールを相手が気づくことにもつながります。伝えたいこと、伝えるべきことは自分から声に出して言うことが、少しでも社会を良くするための一つだと感じました。

父方の祖母はいつも元気にあいさつをします。朝は必ず「おはよう。」、夜も必ず「おやすみなさい。」、外でも人と会ったら「こんにちは。」町の人とも元気よく話します。これらは当たり前のようにだけ、人を明るくするコミュニケーションの基礎だと思いました。

非行に走るのには色々な理由があると思いますが、友人とうまくコミュニケーションが取れず、人に嫌われないように非行に走る人もいます。ふざけ行為が度を超えて、次第に悪いことにつながっていき、そこで自分の価値を見出すようになっていたりするそうです。悪友から悪いことに誘われても、嫌われ

たくない、と断われないと自分も悪友になってしまいます。ある意味、気が弱く、流されやすく優しい人ほど非行に走る傾向があるのかもしれない、と思いました。嫌われたくないからと、誤った誘いに乗るのではなく、自分の考えを持ち、優しく断わるといいと思います。そうしたら、相手にも何か伝えられるかもしれません。

どうしたら非行、犯罪が無くなるのか、正解はまだ分からないけれど、自分の行動が正しいかを考えて、各々が人間としてのマナーを守ること、そして思いやりを持ち「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言えることが大切だと思います。また、地域の民生委員の人や警察に助けを求めるなどして、誰かに頼り、少しでもルール違反がなくなればいいと強く思います。毎日のように非行や犯罪のニュースを耳にします。再犯や再非行を犯す人も多いと聞きました。そのようなニュースが無いような世の中になってほしいと思いました。



今回応募いただいた37点の作文と114点の標語のパソコン入力を6名のボランティアの方にご協力いただきました。誠にありがとうございました。

全応募作品は新居浜市社会福祉協議会のホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



発刊にあたり

新居浜市社会福祉協議会

会長 小野 正師

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築こうとするものです。

大会を開催するにあたり、市内の小・中・高等学校の児童・生徒の皆様から、多くの作文、標語をご応募いただきました。どの作品も、社会を、また新居浜を「明るくしよう」という熱い思いが込められた素晴らしい作品ばかりです。これは、犯罪や非行が大きな社会問題となっている今日、純真な子どもたちから見た社会への率直な気持ちを表したものであり、訴えでもあります。これらの作品に込められた子どもたちの思いを、大人の私たちがしっかりと受け取め、考え、話し合っ、明るく住みやすいまちづくりに努めていかなければならないと感じております。今後とも、これまで以上のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

第 61 回「新居浜を明るくする運動大会」の開催にあたり、次の企業・商店・団体等により、賛助金を賜りました。厚くお礼申し上げます。

企業・商店・団体等

(20,000 円)

株式会社 四国テクニカ

(10,000 円)

越智産業(株)

社会福祉法人 ふたば会

岡田金属 株式会社 岡田 泰敬

東和工業 株式会社

(株)コスにじゅういち

住化ロジスティクス 株式会社

株式会社 全日本宣伝放送

有限会社 公文社

(有)パナック事務機システム

株式会社 ハラプレックス

有限会社 垂水味好堂

(8,000 円)

株式会社 スジャ新居浜営業所

東田印刷 株式会社

(6,000 円)

医療法人 浅井歯科医院 理事長 浅井 仁

かとうクリニック 院長 加藤正隆

梶本建設工業 株式会社

(4,000 円)

むらやま薬局

(2,000 円)

アカマツ株式会社 新居浜営業所

有限会社 新居浜ビジネスセンター

天理教 垣生分教会

有限会社 愛媛フレール

株式会社 別子モータース

新居浜市医師会

関係機関・団体

(40,000 円)

新居浜地区保護司会 川西分区

(20,000 円)

新居浜地区保護司会 上部東分区

新居浜地区保護司会 川東分区

(12,000 円)

新居浜市愛護班連絡協議会

(10,000 円)

新居浜地区保護司会 上部西分区

新居浜市少年補導委員協議会

新居浜市シルバー人材センター

新居浜ロータリークラブ

(8,000 円)

新居浜地区更生保護女性会

新居浜市女性連合協議会

新居浜市老人クラブ連合会

新居浜市公民館連絡協議会

新居浜市県立学校 PTA 連合会

新居浜市スポーツ協会

国際ソロプチミスト新居浜

国際ソロプチミスト新居浜みなみ

新居浜交通安全協会

明るい社会づくり新居浜地区推進協議会

新居浜文化協会

(5,000 円)

新居浜地区少年警察ボランティア協会

(4,000 円)

コットンV「綿ぼうし」

(2,000 円)

新居浜市交通指導員会

新居浜商工会議所

新居浜市声の図書室やまびこ

新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポ

手話サークルたけの子

点訳グループさざなみ

個人

(6,000 円)

寺村 伸治

真鍋 智明

(5,000 円)

伊藤 寿夫

工藤 順

鴻上 勝美

(3,000 円)

シャンソン化粧品 新居浜営業所 北中律子

(2,000 円)

石倉 理恵子

岡部 嘉幸

菅 幸広

近藤 美代子

佐光 照子

田中 洋次

真鍋 憲正

山本 十代美

助成金拠出団体

(10,000 円)

新居浜市社会福祉協議会

新居浜地区保護司会

新居浜地区更生保護女性会

新居浜市民生児童委員協議会

新居浜市連合自治会

新居浜市 PTA 連合会

新居浜市少年補導委員協議会

絵手紙サークルゆめの会

石鎚みずぶコスモス

嵯峨ミストラル新居浜

市内 18 校区民児協

傾聴ボランティアクローバー

市内 18 校区社協支部

ピンクシャツデー愛媛

ひまわり号を走らせる新居浜実行委員会

新居浜災害を考える実行委員会

